



ぴよんちゃん通信



福崎町社会福祉協議会
令和2年11・12月号

朝晩は寒くなりましたが、日中は比較的過ごしやすく、トランポリンと森のひろばで子どもたちは、ミニトランポリン、砂遊び、シャボン玉、土手滑り、固定遊具、落ち葉やドングリ拾い、百歳の森でのかくれんぼ等々を満喫しています。ほとんどが4月入園予定の2歳児さんたちは、友だちとの遊びが楽しくてたまらないようです。Bちゃんは、「トランポリンに行こうか？」とお母さんが伝えられたら、「A君のところに行く！」と、大喜びするそうです。体育館に来たら、A君の姿を確かめ、トランポリンでそれは嬉しそうに跳ねます。少し前まで赤ちゃんだった小さい子たちが、そんな大きい子の側で、ご機嫌で踊っている様子が可愛いです。最近では、1歳児さんたちが、トランポリンの曲に合わせて、振りを覚えて上手に踊れるようになっていきます。トランポリンの後は、手遊びや歌、絵本を観たあと、公園で遊んでいます。

トランポリンでも、公園での遊びでも大切にしているのは、子どもはひとりひとり違うのが当たり前だということです。お友だちが大好きで、一緒に駆け回って遊ぶのが大好きで、例えば砂遊びで、友だちとトンネルや山を作って大胆に遊ぶのがおもしろい子もいれば、自分なりのイメージをもってごちそう作りをじっくり楽しみたい子もいます。今の社会はややもすると、「みんなと一緒に」が求められがちですが、仲間のしていることに関心を向けるためには、何よりも子ども本人の心が安定していなければなりません。森のひろばなどで、自分の思いをわかってくれる大人のいる中で安心感をもって、小さな集団での楽しい体験を重ねるうちに、少しずつ世界を広げて行きます。遊び始めは、お友だちが近くに来ると邪魔されたくなくて、怒ったりさえぎっていたC君。一緒に遊びたくて、ちょっかいを出していたお友だちも、C君の遊びを子どもなりに理解し、また、お友だちのお母さんにもC君の遊びを尊重し見守られ、お母さんの側でじっくり遊んだ後は、『よし！』といった表情で、活発な友だちに交じって、じゃれ合ってたたくましく遊びます。家に帰ったら、「友だちと遊んで、楽しかった！」と話しているそうです。

これからも、ひとりひとりちがうのがあたりまえ、同じ人間は一人としていない。いろいろな家庭、いろいろな子どもがいること、多様なこどもたちがたのしく遊び、遊びを通していろいろなことを学ぶことができるような、森のひろばであるよう、子どもを見る目を豊かにしていきたいと思えます。それは、推進員一人の力では到底できません。これからも保護者の皆様、ご協力よろしくお願いいたします。みんなでみんなの子どもを育てていきましょう。

トランポリンと森のひろば（第2体育館とスポーツ公園）10:00～ 予約なし

- * 日時；11月6日、13日、20日、27日 12月4日、11日、18日、25日（金）
- * 準備；お茶、タオル、親子とも体育館シューズ、着替えなど（お弁当は自由）
- *（新型コロナウイルスの感染状況により、実施できない可能性もありますこと、ご了承ください。）

全国的に、コロナ感染が拡大しています。今後も子育て支援の場が続けられるように、皆で『感染予防対策』を続けましょう。【外出】人の多い場所を避ける・マスクの着用・施設や店舗に行く場合は、感染症対策が充分にされているか確認してから利用する【食事】食事前には手洗いと消毒・直箸避ける・対面ではなく横並びに座り、話は控えめ etc ヨロシクネ！